

## 同窓生シリーズ 第87回

### 29回生 塚越 吾郎 Goro Tsukakoshi

Makara Pte Ltd, Managing Director

略歴 / 1958年 東京生まれ  
1977年 新宿高校卒業  
1983年 慶応義塾大学経済学部卒業  
1992年までヤマハ発動機に勤務  
1996年よりマレーシアにおいて起業、その後シンガポールに永住

2015年現在、自身のシンガポール法人経営及び複数社のコンサルタントを並行。主として、海上設備を途上国に普及させる仕事を行っている。また趣味(かなり逸脱気味)の音楽活動もシンガポールにて定期的に行う。



私(サラリーマン生活)を送りましたが、



高校3年の頃

### 社会人になって

自身から積極的に人を動かしたり行動したりというのは臆病なタイプだったと思います。成績は間違いなく中より下の方で、軽音楽同好会にてバンドをやることだけが自分にとっての唯一の華だと信じていました。本来は理系に少なからず興味があったはずなのに特別な理由もなく文転してしまい、浪人して経済学部に進学したのも特別な思い入れがあったわけでもなく、将来何をすべきか悶々と悩んでいた大学時代に比べると、今となってみれば人生の華が瞬間的に大きく開いたのが新宿高校時代だったような気がします。

### 東南アジア生活から感じること

その間も悶々と自問自答が続いていました。その後かねてからの縁が成就してマレーシアにて起業する機会に恵まれ、自問自答からようやく開放されたと思ったのも束の間、97年のアジア通貨危機に大きく見舞われ、また自問自答に戻ってしまいました。結果色々な変遷を経て現在のシンガポールでの生活に至るわけですが自問自答はまだ続いています。

現在シンガポール拠点としながら、マレーシア、インドネシアなどのASEAN諸国をはじめ、スリランカやバングラデッシュといった新興アジア諸国に頻繁にビジネス訪問しています。新幹線で東京から大阪出張するのと同じ感覚で飛行機に乗って2-3時間の近隣諸国です。使う言語は最小限の現地語以外は英語のみ、日本人とお会いして日本語で



スリランカ漁業省大臣との会食

話すことは現地の日本大使館、関連の方とお会いする以外は皆無です。しかしながら私が何処の会社の名刺を持つと何が何処の製品を担いで行こうか、現地の相手先は私を日本人としてみてくれます。これは実は大変名誉なこと、どこ製の製品でも技術でもサービスでも文化でも何でもいいんです。それをわざわざ持つてきた日本人そのものを受け入れてくれるわけです。これは明治以降150年に渡って先人達が苦勞してきた賜物でもあります。その先人の苦勞を決して忘れてはなりません。しかしながら現在の故国日本国を振り返ると、過去を忘れ奢りに満ちたものを垣間見ることがあります。所詮かつてはアジアの小国に過ぎなかつたのに。私の居るシンガポールは一都市一国家という特殊な形態ゆえ、また為替変動等あり単純比較出来ませんが、数年前に一人当たりGDPで日本と肩を並べたと思ったら、あつという間に追い抜いてアジア域内ではダントツとなつてしまいました。物価水準は日本より遥かに高い。たまに日本を訪れるたびに経済的には東南アジア諸国から置いてきぼりを食らっ

ているのではないかと感じます。70年代とか80年代とか自身自身の成長過程とシンクロしながら味わった日本の成長発展期に比べ、良し悪しは別にして今の日本は大人しく見えます。言い換えれば日本の近代国家建設が全て完了したのかもしれない。

### シンガポール朝陽会

7-8年前に偶然同窓生達と知り合う機会があつて、上

は22回生から下は40回生まで飲み会や朝陽会ゴルフカップなどが2年間くらい続いたことがあります。その後駐在員のメンバーの方は相次いで帰国されてしまい、会はそのまま途絶えてしまい残念です。恐らく沢山いらつしやると思つたのですが駐在の方は任期が短く知り合える機会が限定されてしまつた残念です。

### 現役の新宿高校生へ

対象が何であつても構わないので自分自身の華を早く開かせましょう。結果はそのあとで確実についてきます。そして自分のやつていることが何らかの形で社会、もっと大きく言えば地球全体に少しでも貢献しているなど感じ取れること、この感覚を将来絶対忘れないで欲しい。感じ取れるのはやはり若くて早いほうがいい、この感覚がいつか大きな華を咲かせるでしょう。多量なりとも何らかのメッセージをこつとやつて将来を担う世代に伝えられるのも、開発途上国援助の仕事をやつながら実感するのと同様、私にとつての大きな社会貢献だと思つています。



ラジオ番組出演



シンガポール朝陽会開催 (2007年頃)

シンガポール人シンガーのジェレミー君。日本の「のどまんざわーるど」の元チャンピオン!